

## 12月の予定

- 01日 日本語能力検定試験
- 03日 アトリエ木下クリスマス会
- 06日 オイスカ高校来所・交流会
- 08日 基山ふれあいフェスタ
- 10日 クリスマスマーケット
- 12日 福岡農業高校交流会  
〃 福岡県議連交流会
- 13日 たなまち農園視察
- 18日 早良高校文化体験
- 19日 佐賀県議連視察・交流会
- 21日 センターもちつき大会  
〃 生松台ふれあい市
- 25日 若竹保育園もちつき
- 28日 仕事納め

## ご協力ありがとうございます

### 【11月の寄贈者】（敬称略）

木下テル、オーレック(株)、増留あかね、三村和嗣、(株)ハラダ  
豊福利治、中武喜久代、(株)アーチ電気、井戸川邦吉、坂本進

## 「二士会有志の会」の皆様より募金

8月24日に開催された「サマーナイトフェスティバル」に地元有志で出店されていた二士会有志の会の皆様より募金をいただきました。日頃よりお世話になっています地元脇山の皆様からの温かいお気持ちに感謝し、これからもオイスカ活動を充実させながら地元脇山の活性化に貢献していきたいと思えます。（豊田）



## 北九州エコライフステージ2024

11月16日から17日にかけて北九州エコライフステージ2024が北九州市役所(小倉北区)で開催をされました。西日本最大級の環境イベントとして、市民・NPO・学校・企業などの団体が参加して、日頃実践している活動を紹介するイベントとして毎年開会をされています。今年は7つのゾーンに分かれ70団体あまりが出展をしました。オイスカブースでは新鮮なお野菜やみかんをはじめ手作りジャムやクッキーなどをブースに並べ完売しました。イベント期間中は天候にも恵まれ会員さんをはじめ、たくさんの方の市民の方にご来場をいただきお買い求めいただきました。（満川）



## 体験農園だより

今年は11月の温かさで虫による被害が大きくハクサイはほとんど収穫できませんでした。ダイコンも区画によっては収穫がほとんどないところもあり、大変申し訳なく感じております。一方で、今年のサツマイモは大変大きなものができました。またピーマンも粘り強く収穫を続けています。夏場の影響で、冬野菜の収穫最盛期はもう少し先になりそうです。12月のイベントでは、7日(土)に例年行っているみそづくり、21日(土)に餅つき大会を予定しております。多くの方にご参加いただくと幸いです。（飯川）



## 農場研修風景

11月の収穫祭以降の農場は、サツマイモ掘りに来る保育園児や各種団体がたくさん見えました。そして、月末には福岡県庁や福岡市の販売会、オイスカ野菜の宅配対応(クラウドファンディング)など、目まぐるしい量の野菜やお米が毎日農場から出荷されて行きました。そして、これから年末を迎えるわけですが、収穫する野菜がだいぶなくなってしまう、ちょっと焦っている状況です。それでも、このように多くの方にオイスカ野菜を利用していただき、オイスカ野菜やお米のファンもだいぶ多くなったのではないかと実感しています。来年は、今回の反省を踏まえ多くのオイスカ野菜のファンの皆様の期待に応えられるように準備を進めていきたいと思えます。（飯川）



# まるごと!西日本

2024年12月



Instagram facebook

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部  
福岡市早良区小笠木 678-1  
TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322  
E-mail: [oisca\\_ntc@oisca.org](mailto:oisca_ntc@oisca.org) 検索 **オイスカ西日本**

日頃の様子を更新中!是非チェックお願いします!

## 2024 オイスカ収穫感謝祭・秋

今年で16回目を迎えた収穫感謝祭・秋、絶好の天候に恵まれ1800名以上の来場者でにぎわいました。今年は出店、ステージも多く、皆さんしっかりとオイスカの秋を満喫していただきました。恒例の抽選会も盛り上がり、また、閉会前の研修生と力士による餅撒きは本当に沢山の方に参加頂き、最高のエンディングを迎えました。来場いただきました皆様、また、出店、出演、そして多くのボランティアの皆様、本当にありがとうございました。来年も開催しますので、よろしくお願いいたします。（廣瀬）



## オイスカセンターサミット in 関西

オイスカ本部、そして関西・中部・四国・西日本の4つセンター長はじめ各地区の推進協議会の正副会長の方々が集まり、オイスカの現状と今後の課題が議題となる中で、主に3年後に変わる「技能実習制度」についての内容について議論がおりなされました。色々な意見や質疑応答がなされる中、参加した全員に共通していたのは、大きく変わる制度に対して、ブレることなく時代に対応していくという言葉に「オイスカスピリッツ(オイスカ精神)」を実感しました。また、各センターに於いての職員の待遇改善、人員補充について討議され、オイスカ研修を継続させるためにも抜本的な見直しも必要との意見も交わされました。今後、オイスカの人材育成事業がより多くの方に理解され、協力を仰げる体制づくりを行っていききたいと思います。



## マレーシア・KPD 理事長一行来日

今年の8月、「オイスカふれあいの翼・マレーシアサバ視察」で訪問したマレーシアサバ州のKPD(農村開発公社)(オイスカと連携してサバ研修センターを運営している政府機関)より理事長、研修部門担当部長、センター所長の3名が来日されました。8月に訪問の際、「11月に大きなイベントしますが、お越しになりますか?」と誘っていたのですが、本当に来ていただきました。もちろん大きな目的は、毎年サバ研修センターから研修に来ている研修現場を視察すること、収穫祭を体験することでした。勿論、収穫祭も大喜びで、満喫され、その後、長崎視察、農業機械メーカーのオーレック様視察、エミュー牧場運営の日本エコシステム様にも訪問しました。一行にはオイスカへの理解を深めていただき、また多くの関連支援企業の存在も印象に残ったようです。より一層のつながりが深くなることを願います。（廣瀬）



## ホテルオークラ福岡 3年目社員フォローアップ研修

11月28日(木)、オイスカの農産物をいつも利用していただいている、ホテルオークラ福岡の3年目の社員の方を対象とした研修プログラムの受入れを実施しました。当日はあいにくの雨で研修の実施が心配されましたが、午前中はオイスカの活動紹介と海外研修生3カ国の料理づくりが行われ、皆さん手際よく調理していただき、美味しい料理を作ることが出来ました。昼食後は研修生各国の紹介と農業体験ということで、ちょうど雨が止んでいるタイミングでサツマイモの収穫作業を行いました。参加した社員の皆さんは、積極的に研修生と交流を深めていただき、お互いに有意義な時間を過ごすことが出来ました。(豊田)



## 高田川部屋と一緒

今年も大相撲九州場所に併せて高田川部屋一行が西日本研修センターに滞在しました。昨年までは新型コロナウイルスの影響であまり接触が出来ませんでしたが、今年は11月9日に開催した収穫祭にも積極的に参加頂き、また、研修生との交流も実施できました。九州場所での成績はそれぞれでしたが、本場所前の稽古、研修生達は本場の相撲をみて感動していました。24日には千秋楽を迎え、多くの支援者にお越しいただき、研修生と力士の競演ダンスは見ものでした。来年は皆さん、もっと強くなって帰ってくることを楽しみにしています。(廣瀬)



## 宝珠山百年の森 植林活動参加

11月23日(土)宝珠山百年の森 植林活動に参加しました。この活動は今年で24回目となるようで、私達オイスカ西日本研修センターも十数年前から参加しています。当日は、朝から雨が降っていましたが、イベントが始まると雨も止み植林組合の方の指導の下桜と紅葉の15本の若木(3mくらいの高さで 約15kg 1人でやっと抱えられるくらい)を植樹しました。その後は、ご準備いただいたカレーや鶏肉料理の昼食を食べ、オイスカ・バンブーの演奏後、カントリードリーマーズ(福岡市)のカントリーミュージックが始まると最初は視聴でしたが、研修生と一緒に踊り出して盛り上がり過ぎてアンコールが続き、なかなか終わろうとしない…。それくらい楽しい時間を過ごさせて頂きました。帰りに筑前町の地域おこし協力隊が、地元でとれた藁(わら)を使い約1か月かけて制作された「ゴジラ」を見学しました。毎年、違ったものを製作され、来年は何が出来るとか？楽しみです。(浦上)



## 福岡県庁販売会

11月27日(水)、28日(木)に福岡県庁1階ロビーの一角をお借りして、研修生とともにオイスカ農産物販売会を行いました。2日間とも大盛況で、1日目は少し農産物が売れ残ったものの、2日目には完売できました。完売後にお越しになった方もおり、残念そうにされていました。2日間を通して、年々「オイスカ農産物」のファンが増えているのを実感しています。夏にも研修生とともに同じロビーにて、オイスカ農産物販売会を行いました。そのときよりも格段に日本語が上手になっており、しっかり野菜の説明をして自分たちが育てた野菜を販売していました。多くの方に農産物を買っていただいただけでなく、オイスカのPRをすることができました。県議会議員の先生方や県庁職員の皆様をはじめとするご購入いただいた皆様、またご協力いただいた県庁担当の皆様、誠にありがとうございました😊 (飯川)



## いもほり体験 受け入れ盛りだくさん



今年は例年に比べサツマイモの生育がよく、大きなイモがよく出ています。そのような中で、10月は3か所の保育園(若竹保育園、岡本保育園、ピノキオこども園)と1団体(ドットコム)の計4団体から芋掘り体験に来てくれました。サツマイモ畑に到着した園児たちは、かわいいスコップと手袋を身に付けて、研修生からの指導を受けながら、元気よくサツマイモ掘りを行っていました。大きなイモを掘り上げるたびに「先生、大きなサツマイモがほれた」と大きな声でアピールする姿が微笑ましく、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。(豊田)

## 佐賀国際フェスタ参加

11月24日(日)どんどんの森(佐賀県)にて行われた「2024SPIRA さが国際フェスタ」にステージ出演およびバザー出店を行いました。ステージ出演ではトップバッターを務めさせていただき、バンブーバンドによる演奏2曲とフィジー、モンゴル、インドのダンスを披露させていただきました。会場も盛り上がり、参加者の皆様にも喜んでいただけました😊バザー出店では新米と有機野菜、ジャムなどを販売し、大変ありがたいことに完売！多くの方に新米と有機野菜を買っていただいただけでなく、オイスカについても知っていただけたかと思います。研修生もそのほかの出展ブースの見学や多国籍の方との交流を楽しんでいたように見えました。貴重な経験をいただき、ありがとうございました(飯川)



## クレフル バーベキュー大会

11月1日(金)、地元早良区で活動しているクレフル(福祉施設)の皆さん総勢70名程が参加して、毎年恒例のバーベキュー大会が開催されました。そして、これも毎年恒例となっているかのようにその日は大雨の天気になってしまい、会場を食堂内に移してバーベキュー大会をしました。参加者の皆さんは、ふんだんに準備されたお肉や焼きそば、そしてオイスカ米の白おむすびなどをお腹いっぱい食べて、その後は恒例のダンスや歌で盛り上がりました。研修生にとって障害を持たれている方と交流をする機会は少ないので、障害の壁を越えて一緒に楽しむことの大切さを理解することが出来たと思います。(豊田)

## 福岡県青少年育成県民会議主催 保育園児を対象とした体験交流会

11月15日(金)、今回初の取り組みとなる福岡県主催の行事で、保育園児(清水保育園の年長組)30名ほどが参加して、研修生との交流会を実施しました。交流会の内容は、研修農場の秋野菜収穫体験や各国の紹介、ダンスや歌の披露など盛りだくさんの内容で行い、子ども達も大喜びで参加していました。交流会を終えた数日後に、このイベントの担当者から「保育園からお礼の電話があり、参加した子ども達の保護者から、うちの子がオイスカでの交流会についてたくさんお話をしてくれました、楽しかったと言っていましたと感想をいただきました」との報告をいただきました。初めての企画でしたが、皆さんに喜んでいただけてよかったです。(豊田)



## 福岡市役所販売会

11月29日(金)福岡市役所九州広場の一角をお借りして、研修生とともに屋外でオイスカ農産物販売会を行いました。元々、26日(火)に販売会を行う予定でしたが、あいにくの天候だったので29日(金)に延期。当日は小雨が降る寒い日でしたが、研修生たちは寒さに負けず元気に農産物を売りました。市役所のお昼休みの時間帯にちょうど小雨が止み、職員の皆様がたくさん買ってくださり、おかげさまで農産物を完売することができました。ご購入いただいた皆様、ご協力いただいた市役所職員の皆様、誠にありがとうございました😊 (飯川)



## 早良高校ボランティア



11月13日(水)、14日(木)に計34名の早良高校生が農業ボランティアとしてご協力くださいました。研修生との交流も兼ねて、芋ほりをお手伝いいただきました。大きなイモも収穫でき、歓声が沸いていました。ボランティア以降はすれ違ふとよく研修生に声をかけてくれたようになった気がします。楽しい時間を過ごせてよかったです(飯

## 日本語のようす⑨

### ☆大野城市日本語スピーチコンテスト出場☆

今年度の日本語クラスも残すところ1回となりました(11月25日現在)。今年度はコロナも落ち着き、交流事業が多くありました。日本語の勉強になかなか集中できないこともあったと思いますが、相乗効果で日本語力も伸びていると思います。

**Aクラス**の6名は11月3日に大野城市日本語スピーチコンテストに出場しました。そして、インド研修生ディヤさんが最優秀賞、インドネシア研修生クラウドさんが審査員特別賞を受賞しました。今回は研修生以外の参加は1名であったので、ほぼ研修生のスピーチコンテストでしたが、急遽出場が決まった4名もほぼ暗記をして、顔をあげて、話すことができました。また、6名で出場することで、一人一人が頑張ることができたと思います。この経験が彼らの自信につながると嬉しいです。

☆インド研修生ディヤ…日本(外国)での生活を経験して、ありのままを受け入れることの大切さを話しました。

☆インドネシア研修生クラウド…センターでの共同生活の経験から、協力すること、交流することの大切さを話しました。

☆ミャンマー研修生リン…ミャンマーの現状を話し、農業をベースに考えて、ふるさと、国のために何かできる人になり、ミャンマーを元気で幸せな国にしたいと話しました。!

☆東ティモール研修生セバス…日本に来て、一生懸命働くこと、時間を守ることの大切さを学んだと話しました。

☆フィリピン研修生ジェイソン…帰国後は、養鶏の会社を作り、オイスカの子どもの森活動の仕事をしたいと話しました。

☆モンゴル研修生チェンゲル…日本の高齢者がとても元気でよく働くことに驚き、自身もそうありたいと話しました。

**Bクラス**はAクラスよりゆっくりペースですが、4名それぞれ日本語を話す力が伸びています。先日、仮定表現の「～たら」を学習した際に、作文させてみました。

☆チベット研修生サンゲル…もし、100万円があったら、旅行します。

☆PNG 研修生ベニー…もし、100万円があったら、もう1度学校で勉強します。  
それを聞いた

☆PNG 研修生ウェスリー「PNGのお年寄り、みんなそう言います。」  
とのこと、勉強したくてもできなかった時代があったのかなと思いました。

☆フィジー研修生カロ…もし、自分が社長だったら、土日休みにします。  
前文を与えたら、すぐに後ろの文を作りました(笑)。みんな頑張っています。



**がんばれ！研修生！** (立石考子)

## 脇山校区運動会

11月17日(日)、脇山小学校にて脇山校区の運動会が行われました。研修生の中には運動会って何?という人が多くみられたため前日から脇山校区の方に来て頂き競技の説明、練習と、準備万端とまではいきませんが一通り理解した上で当日を迎えました。というのも、競技種目の名前が非常にユニークで、例えば「宅急便」、「おじゃまします」など。老若男女問わず参加できて見るだけでも楽しい種目ばかりでした。当日は朝から曇ったり小雨が降ったりと不安定な天気の中、すべての競技が天気の様子を見ながら行われました(主催者の方は大変だったことと思います)研修生の出番も多く、みんな初めての経験でしたが一生懸命に玉入れしたり、走ったり、踊ったり、応援したり。玉入れに関しては200個の玉のうち199個も投げ入れてました!最大の見せ場、最終リレーもアンカーのPNG研修生ウェスリーが2位でバトンを渡され最後のフィニッシュテープ直前にまさかのジャンプ(これは本人曰く1位になりたかったとのこと)。おかげで1位通過でした。他、着せ替え人形では廣瀬所長が女性研修生に重ね着をさせられその枚数を競う競技で上手に20枚くらい着せあげ見事にお団子状態になっていました(笑) 研修生はもちろん競技中オイスカを応援するのですが、例えばレースの最後に走ってきている他のチームの人を一生懸命に応援している姿を何度も何度も見て私は研修生の気持ちの優しさに感心させられました。そしてみんなの頑張りでなんとチームオイスカ、5年ぶりの優勝!!! 研修生も大喜びで今年度の研修生も一つ(チーム)になったなあ~という印象を受けました。 研修生も私たちスタッフも思い出に残る1日となりました。(豊田早苗)



## OB紹介コーナー

今回紹介するOB研修生はマレーシア・サバ州のアズミさんです。

アズミンさんは2022年の研修生で、帰国後から今まで、現地のオイスカテノム研修センターでスタッフとして活躍しています。アズミンさんはどのような先生になっているのでしょうか。

(質問) 国に帰ってから今まで何をしていましたか?

(答) 私は国に帰ってから今まで、オイスカのテノム研修センターで働いています。ずっと野菜の担当をしています。

メロンやトマト、葉っぱの野菜をつくっています。水耕栽培もしています。

(質問) 日本での一番の思い出は何ですか?

(答) マレーシアには雪が降らないので、冬の時に初めて雪で遊んだことが一番の思い出です。日本の文化も忘れません。

(質問) 好きな食べ物は何か?

(答) うどんです。

(質問) これからのプランなんですか?

(答) 私のプランは自分のふるさとでメロンとシイタケを作ることです。



今年の夏に実施されたセンター主催の海外ツアーでは、サバ州を訪問してきました。その時にアズミンさん他西日本センターのOB・OG達がとても頑張っていて、頼もしく感じました。これからも彼らの活躍を期待したいと思います。